

OTOWA カップ
第34回 関東女子ラグビーフットボール大会
大会実施要項

1. 名 称 第34回関東女子ラグビーフットボール大会
2. 趣 旨
(1) 関東地区における女子ラグビーチームの交流と、15人制ラグビーのレベルアップを図る。
(2) 第10回全国女子ラグビーフットボール選手権大会の出場チーム及び順位を決定する。
3. 主 催 : 関東ラグビーフットボール協会
4. 主 管 : 関東ラグビーフットボール協会女子委員会
5. 協 力 : 東京都ラグビーフットボール協会
茨城県ラグビーフットボール協会
神奈川県ラグビーフットボール協会
埼玉県ラグビーフットボール協会
千葉県ラグビーフットボール協会
三郷市ラグビーフットボール協会
印西市ラグビーフットボール協会
八王子市ラグビーフットボール協会
6. 冠協賛 : 音羽産業株式会社
7. 出場予定チーム
【単独チーム】
日本体育大学ラグビー部女子・東京山九フェニックス・横河武蔵野 Artemi-Stars
RKU グレース・YOKOHAMA TKM
【合同チーム】
立正大学アルカスバーバリアンズ（立正大学・ARUKAS・北海道バーバリアンズディアナ）
OBL（弘前サクラオーバルズ・Brave Louve・国際武道大学）
8. 日程/会場※10月16日時点
 - ①11月4日(土) 東京山九フェニックス 対 OBL 12:00K0 代々木公園ラグビー場
 - ②11月12日(日) RKU グレース 対 YOKOHAMA TKM 11:30K0 流通経済大学G
 - ③11月12日(日) 日本体育大学ラグビー部女子 対 OBL 14:00K0 流通経済大学G
 - ④11月19日(日) 横河武蔵野 Artemi-Stars 対 RKU グレース 14:00K0 松山下公園陸上競技場
 - ⑤11月19日(日) 東京山九フェニックス 対 YOKOHAMA TKM 11:30K0 日本体育大学G
 - ⑥11月19日(日) 日本体育大学ラグビー部女子 対 立正大学アルカスバーバリアンズ 14:00K0
日本体育大学G

- ⑦11月26日(日) 立正大学アルカスバーバリアンズ 対 OBL 11:30KO 日本大学稲城 G
- ⑧11月26日(日) 東京山九フェニックス 対 横河武蔵野 Artemi-Stars 14:00KO 日本大学稲城 G
- ⑩12月3日(日) YOKOHAMA TKM 対 OBL 11:30KO 日本体育大学 G
- ⑪12月3日(日) 日本体育大学ラグビー部女子 対 RKU グレース 14:00KO 日本体育大学 G
- ⑪12月10日(日) 日本体育大学ラグビー部女子 対 東京山九フェニックス 11:00KO 府中朝日 G
- ⑫12月10日(日) 横河武蔵野 Artemi-Stars 対 YOKOHAMA TKM 13:15KO 府中朝日 G
- ⑬12月10日(日) RKU グレース 対 立正大学アルカスバーバリアンズ 15:30KO 府中朝日 G
- ⑭12月17日(日) 横河武蔵野 Artemi-Stars 対 OBL 11:00KO セナリオハウスフィールド三郷
- ⑮12月17日(日) 東京山九フェニックス 対 立正大学アルカスバーバリアンズ 14:00KO セナリオハウスフィールド三郷
- ⑯12月24日(日) 日本体育大学ラグビー部女子 対 YOKOHAMA TKM 11:00KO 府中朝日 G
- ⑰12月24日(日) RKU グレース 対 OBL 13:15KO 府中朝日 G
- ⑱12月24日(日) 横河武蔵野 Artemi-Stars 対 立正大学アルカスバーバリアンズ 15:30KO 府中朝日 G
- ⑲1月6日(土) 日本体育大学ラグビー部女子 対 横河武蔵野 Artemi-Stars 11:30KO 上柚木公園陸上競技場
- ⑳1月6日(土) 東京山九フェニックス 対 RKU グレース 14:00KO 上柚木公園陸上競技場
- ㉑1月6日(土) YOKOHAMA TKM 対 立正大学アルカスバーバリアンズ 15:30KO 拓殖大学 G
- ㉒1月14日(日) 予備日 セナリオハウスフィールド三郷

9. 参加資格

(1) チームについて

関東圏内における所在地を管轄する各都道府県協会に登録しているチームまたはチームにより構成された合同チームであること。

(2) 選手について

- 所在地を管轄する各都道府県協会に登録している2005年4月1日以前に生まれた女子選手とする。
- 本大会を通じて同一選手の異なるチームでの出場は認めない。

(3) その他

- スポーツ安全保険に加入していること。

10. 競技規則

- (1) 2023年度版 World Rugby 競技規則（ならびに一部服装については、平成30年改訂版競技規則（タグラグビー、U-12 ミニラグビー、U-15 ジュニアラグビー、19歳未満 国内高専・高校以下用）にて実施する。

(2) 試合時間

40分ハーフ、ハーフタイムは15分以内とし、ロスタイム制にて実施する。

- (3) 15人制の大会として実施し、試合当日の選手の登録は、23名以内とする。

各チームは、試合前にレフリーにフロントロープレーヤーとその交代要員を知らせなければならない。フロントローの各プレーヤーおよび交代の可能性がある要員は、適切に訓練され、かつ、経験のあるプレーヤーでなければならない。

(4) スコッドの人数

2023年度版 World Rugby 競技規則 第3条-8 および 9※1 に則って実施する。

スコッドの人数	スコッドにおけるフロントローの最低人数	最初の交替のとき、以下と交替できる者であること
15名、または、それ未満	3名	-
16～18名	4名	プロップ、または、フッカーのどちらか
19～22名	5名	プロップとフッカーの両方
23名	6名	ルースヘッドプロップ、タイトヘッドプロップ、および、フッカー

全国選手権を目標とするチームは全国女子選手権の実施要項を鑑みて準備をする事。

2022年度の全国女子選手権の実施要項を一部抜粋する。※2

- (5) 選手の入替及び交代、大会が用意した入替／交替カードに必要事項を記入しマッチオフィシャルまたは、競技役員に提出し、レフリーの指示に従って行うものとする。
- (6) 19歳未満（上記【10. 参加資格】を持つ18歳）の選手はヘッドギアならびに、マウスガードの着用を義務とする。

11. 競技方法

(1) 試合人数：15人制

(2) 総当たりリーグ戦で順位を決定する。

(3) 順位の決定方法

順位決定方法は、勝ち点制度を用いて決定する。

I. 勝ち点の多い順に順位決定を行う。

勝ち：4点、引分：2点、負け：0点、不戦勝：5点、不戦敗：0点、不成立：2点を与え、全試合終了時点で、最も勝ち点の多いチームを1位とする。

※ ボーナスポイントとして以下の勝ち点を与える。

・負けても7点差以内ならば、勝ち点「1」を追加。

・3トライ差以上の勝ちならば、勝ち点「1」を追加。

II. 全試合終了時に勝点が同数の場合は、次の各号の順序により順位を決定する。

① 全試合の勝利数の多いチームから上位とする。

② 当該チーム同士の試合で、勝ち点の多いチームを上位とする。

③ 当該チーム同士の試合で、得失点差の多いチームを上位とする。

ただし、当該チームが2チーム間の比較であった場合、前項(2)にて比較済のため、(4)の項目へ進むこととする。

④ 全試合の総得失点差の多いチームを上位とする。

⑤ 全試合で総トライ数の多いチームを上位とする。

⑥ 全試合でトライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

⑦ 当該チームで抽選を実施する

優勝・準優勝チームは、開催が予定されている「第10回全国女子ラグビーフットボール選手権大会」へ関東協会より推薦する。

(4) 試合中止時の取扱い

- ① 双方のチームの責に帰すべき事由によらない不可抗力により試合中止となった場合、不成立として扱い双方のチームに2点を付与する。得失点差は0-0として扱う。
- ② 一方のチームの責に帰すべき事由により、試合中止となった場合、その帰責性のあるチームは不戦敗として扱い、勝ち点は付与されず、対戦チームに5点を付与する。得失点は21-0(3T3G)として扱う。
- ③ 双方のチームの責に帰すべき事由により、試合中止となった場合、双方不戦敗として扱い、双方のチームに勝ち点は付与されない。得失点差は0-0として扱う。

※チームの責に帰すべき事由とは、試合登録人数を満たせなかった場合を示す。具体例としては、不祥事・感染症を起因とする活動停止等の影響によりチーム側から公式戦辞退判断が出た場合や、怪我人が多発し試合に臨める状態ではなく、チーム側から公式戦辞退判断が出た場合が挙げられる。

双方のチームの責に帰すべき事由によらない不可抗力は、悪天候・地震等の天災地変、公的機関からの中止勧告、公共交通機関不通等を示す。

※双方のチームの責に帰すべき事由によらない(不可抗力)事由によって、試合が実施できなかった試合は予備日の1月14日(日)に実施とする。

12. アンコンテストスクラム

- (1) 退場あるいは負傷が理由で、適切に訓練されているフロントロープレーヤーがいなくなった場合、試合はアンコンテストスクラムにより続行される。
- (2) レフリーは、試合中に、チームに、競技規則に則った適切に訓練され、かつ、経験のあるフロントロープレーヤーがいない、または、安全上の理由で、アンコンテストスクラムを命じたら、その旨を試合主催者に報告する。
- (3) レフリーによりアンコンテストスクラムが命じられた場合でも、競技規則に基づいて試合は続行される。
- (4) また、その原因を作った側のチームの得点も記録され、勝敗および勝ち点に影響はないものとする。
- (5) 適切に訓練された前列がいる以上は、試合開始前から戦術的にアンコンテストスクラムを選択することはできない。

13. 大会登録および出場選手登録

- 大会登録メンバー表(書式1) 提出期限: 10月23日(月)正午まで
- 出場選手は大会登録メンバー表提出の時点で所在地を管轄する各都道府県協会へ登録済みの選手のみとする。
- 出場選手登録書式(書式2)を各試合日程の48時間前までにメールにて提出すること。
- 出場選手の最終登録選手の変更は、当日のプレマッチミーティングまでとする。
- 合同チームは、合同チームでまとめて申込みをすること。
- 申し込みの際に、合同チームは、チーム名を決めて申し込みをすること。
- 全ての選手は正式な手順、手続きをした上で参加を可とする。

14. 外国人選手の出場

- (1) 外国籍の選手が参加する場合は(公財)日本ラグビーフットボール協会「チームの登録に関

する規程」の「第4章外国人選手」※3にもとづいて、承認を受けた者に限る。また、その後、継続的に日本に居住し、所属チーム部員として練習その他の活動を共にしており、所在地を管轄する各都道府県協会において登録した選手に限る。

- (2) アジア・ラグビーフットボール協会加盟国協会の国籍を有するものは、外国籍選手登と同時に「アジア枠」として登録することができる。
- (3) 選手としてアジア枠でフィールドオブプレーに入ることができる選手は、1名を限度とする。
- (4) アジア枠選手1名を除く外国籍選手は、試合へのエントリー人数は制限を設けないが同時出場は3名までとする。

15. 参加費 1チームにつき 20000円

16. 表彰

- 毎試合で1名、SOM(Star of the Match)を選出する。
- 優勝チームを表彰する。
- 大会最優秀選手 MVP(Most Valuable Player)を1名選出する。

17. 試合当日の練習場所

当日の練習場所は各会場にて指定されたウォーミングアップ場を使用し注意事項に従うこと。

18. テクニカルゾーン

- 試合会場に応じて実行委員会において随時定める。
- 競技区域内に入ることができるスタッフは、チームドクター・メディカルスタッフ2名・給水係3名とし、キックティーフは給水係が兼務する。いずれも所在地を管轄する各都道府県協会へ登録している者が任を務める事とする。

19. プレマッチミーティングについて

- (1) 第1試合は試合開始80分前、第2試合は第1試合のハーフタイムに実施する。
- (2) 参加者は各試合のマッチコミッショナー、チーム代表者、レフリーとする。
- (3) プレマッチミーティングでは、以下の事項を確認する。
 - 出場登録選手の最終確認
 - 時計の同期
 - レフリーからのブリーフィング、ドレスチェック、コイントス時間及び場所の確認
 - その他、競技運営に関する留意事項を確認

20. その他

- (1) 試合当日のロッカールームの割付、タイムスケジュール、会場における留意事項などは、関東協会から連絡する。
- (2) 悪天候による当日の試合の開催可否判断について。マッチコミッショナー・マッチオフィシャルの判断により、両チーム、ならびに関係者(グラウンド管理者等)と協議の上決定する。試合の中止が決定した場合は引き分けとする。
- (3) ハーフタイムまたは後半途中で試合が中断し、再開することが出来ないと判断された場合、その時点で試合は成立したこととする。

(4) 前半途中で試合が中断し、そのまま再開出来ない場合、引き分けとする。

※試合再開の目処は遅くとも試合中断後60分後を目安とする。また、その判断は試合中断、30分以内を目途とする。

(5) 関東協会女子委員会是不測の事態によって大会・試合の中止・延期の決定をする場合がある。

(7) 大型台風等々、試合の開催に様々な危険をもたらす恐れがある場合は、関東協会女子委員会にて試合開催可否を判断する場合がある。

※1 2023年度版 World Rugby 競技規則 第3条-8 および9

8. この表は、スコッドの人数に対するフロントローの最低人数と、交替における最低要件を示している。試合開催者は、プレーヤーウェルフェアを考慮し、特定のレベルの競技においてスコッドにおけるフロントローの最低人数と交替における最低要件を変更することができる。

スコッドの人数	スコッドにおけるフロントローの最低人数	最初の交替のとき、以下と交替できる者であること
15名、または、それ未満	3名	-
16~18名	4名	プロップ、または、フッカーのどちらか
19~22名	5名	プロップとフッカーの両方
23名	6名	ルースヘッドプロップ、タイトヘッドプロップ、および、フッカー

9. 試合主催者がスコッドの人数を23名に決めたが、一方のチームがフロントローの交替要員を2名しか出せない場合、そのチームはスコッドを22名しか指名することができない。

※2 試合出場登録選手、及び人数について

① 試合登録選手の人数は原則23名とするが、やむを得ない場合に限り22名での登録も認める。その際のリザーブ選手の内訳は以下「②」の通りとする。

② 23名登録の場合、リザーブ選手の内訳はフロントロー3名と、その他のプレーヤー5名の計8名とする。

※22名登録の場合、リザーブ選手の内訳はフロントロー2名と、その他のプレーヤー5名とする。

③ プレーヤーの背番号、プレーヤーは左から右に次の背番号を付けるものとする。

・ルース・ヘッド・プロップ	1	・スクラムハーフ	9
・フッカー	2	・スタンドオフ	10
・タイト・ヘッド・プロップ	3	・左ウイング	11
・左ロック	4	・左(インサイド)センター	12
・右ロック	5	・右(アウトサイド)センター	13
・左フランカー	6	・右ウイング	14
・右フランカー	7	・フルバック	15
・ナンバーエイト	8		

④ フロントローのリザーブ選手のジャージの背番号は 16 番、17 番、18 番とする。

※3 (公財) 日本ラグビーフットボール協会「チームの登録に関する規程」の「第4章外国人選手」

第4章 外国人選手

(外国人選手の登録手続)

第16条 登録チームが外国人につき選手登録をしようとするときは、次の各号に掲げる書類の写し各

1 通を都道府県協会に提出しなければならない。

(1) 査証(ビザ)を受けた旅券(パスポート)

(2) 在留カード

(3) 所属する企業との間で締結した雇用契約書又は、又はチームの属する学校への就学証明書

2 登録チームは、外国において登録されたことのある外国人選手を登録しようとするときは、前項の書類に加えて前所属チーム及び前所属協会の移動許可書(ワールドラグビーの標準書式による「移動許可 Clearance」)を提出しなければならない。

3 登録チームは、当該チームに移籍する外国人選手につき母国協会又は移籍元チームから育成費その他の金銭請求を受ける可能性がある場合には、前項の書類に加えて、母国協会又は移籍元チームとの間で上記金銭請求に関する合意が成立している旨の誓約書を提出しなければならない。

4 都道府県協会は、登録チームから第1項から第2項までの書類の提出を受けたときは、すみやかにその書類の写しを三支部協会及び日本協会に送付しなければならない。

(外国人選手の例外)

第17条 前条の規定は、外国国籍の選手であって、日本国政府より特別永住権を認められて、日本国に在住している者には適用しない。

(外国協会登録の外国人選手の登録不承認)

第18条 外国協会に登録されたことのある選手又は国外の育成プログラムによる訓練を受けたことのある選手に次に掲げる事情があるときは、日本協会は、当該事情が解消するまでの間、選手登録を認めない場合がある。

(1) 登録しようとしている選手が、外国の協会、その所属団体又はクラブとの間で締結した契約上の義務を完全に履行していないとき

(2) 登録しようとしている選手の所属に関し、外国の協会、その所属団体又はクラブ等との間で紛争が生じているとき

(3) 登録しようとしている選手が、所属する協会の規律上の理由により試合への出場が禁じられているとき